

もしも キャンペーン

「いつか」ではなく、^{いまかんが}今考える「もしも」の^{とき}時のこと。
「もしも」の^{とき}時も^{あんしん}安心できる^{ちいき}地域でありたい。



^{しょう}障がいの^{かた}ある方

^{かぞく}家族が^{たお}倒れたら…
「もしも」の^{とき}時は^ほこうして欲しい

^{りよう}いつも利用している^{じぎょうしょ}事業所

^き気がかりな^{かぞく}ご家族が^{がんば}いる
ご家族が^{たよ}頑張りすぎかも？
頼れる^{とき}ところは^ああるのかな？
「もしも」の^{とき}時は^ななにが^あできるかな？



^{みな}みんなで^{はな}話し合おう

^{たんどうしゃかいぎ}担当者会議など、^{はな}みんなが^{きかい}話せる^{きかい}機会に
「もしも」の^{とき}時のことを^{はな}話し合っ^あて
^{そな}備えて^あい^あきましょう。



～もしもキャンペーンとは～

和泉市障がい者地域自立支援協議会・地域生活支援拠点部会では、障がいの^{かた}ある方の「緊急時の支援体制」についての^{とりく}取り組みを行っており、^{おこな}短期入所を^{たんき}活用した^{にゆうしょ}支援体制を^{かつよう}構築するなど、^{しえんたいせい}整備を進めています。

今後、さらなる^{こんご}充実に向けて^{じゅうじつ}どのような^む支援体制が必要か、^{しえんたいせい}個別に^{ひつよう}利用者の^{こべつ}希望や^{りようしゃ}状況をお^{きぼう}聞きし、^{じょうきよう}その方^きに^{かた}合^あった^{しえんたいせい}支援体制の^{こうちく}構築を進めるため、^{すす}考える^{かんが}きっかけ、^{はな}話し合^あいを持つ^も機会として^{きかい}キャンペーンを^{きかく}企画しました。

「もしも」のときを

考えよう



たとえば、日頃障がいのある方を介護されている方が急に不在となった場合、どのような支援が必要か、ご本人に合った支援体制について、ご家族、支援者と事前に話し合い「もしも」の事態に備えていきましょう。

障がいのある方・ご家族

今はまだ元気だけど…

もし家族が倒れたら

ご本人の介護についてどうすれば良いのか

サービス提供事業所

行き慣れた事業所でご本人のことを
よく知っている

もし家族がみれなくなった時、
なにができるかな。

???



みんなで考えよう

「もしも」の時はどんな支援が必要か
担当者会議やモニタリング等の場面で
「もしも」の時について話し合い、備えましょう。



point

「もしも」の時はどんな時？

- ・ご家族など介護されている方が不在になる
リスクは？（入院やその他の事情など）
- ・不在となった場合緊急的に支援が必要かどうか

「もしも」の時がきたら

- ・支援が必要な場合、誰がなにを担うか。
→親族などで支援してくれる人がいる
→支援者で介護等する必要がある

【具体的にどんな支援が必要か】

- 短期入所を利用したい
- 在宅で介護を受けたい
- その他

連絡や送迎などの役割分担も確認して
おきましょう

「もしも」の時に備えて

- ・具体的にどのようなサービスがどれくらい
必要か
- ・今の支援量を変更する必要があるか
- ・支援計画や支給量の見直しをしましょう